

■第20回法整備支援連絡会を開催しました（平成31年2月1日）

法務総合研究所は、法制度整備支援の関係者間の情報共有・意見交換等を目的として、平成31年2月1日（金）、東京都昭島市にある法務省国際法務総合センター「国際会議場A」と、大阪市にある大阪中之島合同庁舎国際会議室とをテレビ会議で接続し、第20回法整備支援連絡会（以下「本連絡会」といいます。）を開催しました。

20回目という節目を迎えた本連絡会では、全体テーマを「持続可能な開発目標（SDGs）と法整備支援」とし、SDGsと法整備支援の関わりという観点から、今後の日本の法整備支援の在り方、目標などについて議論しました。

両会場とも80名を超える参加者が集い、盛況でした。



【東京会場の様子】



【大阪会場の様子】

第1部では、ニューヨークと中継をつなぎ、世界的に著名な経済学者であり、国連事務総長の特別顧問を務める米国コロンビア大学教授のジェフリー・サックス氏から、「SDGsと法の役割」と題する基調講演をしていただきました。

第2部では、国連開発計画（UNDP）バンコク地域ハブのニコラス・ブース氏（ガバナンス及び平和構築チーム担当オフィサー兼紛争防止・司法アクセス・人権アドバイザー）

による、「開発支援の潮流と法整備支援」と題するプレゼンテーション及び慶應義塾大学大学院の松尾弘教授とのトークセッションを実施しました。



【第2部 トークセッションの様子】

第3部では、法整備支援の関係機関による活動報告を行い、続く第4部においては、「日本の法整備支援の目的・役割は何か」をテーマにパネルディスカッションを実施して、SDGsとの関連における法整備支援の目的や役割、また、これからの日本の法整備支援はどうあるべきかについて、参加者による活発な議論が交わされました。



【第3部 法務総合研究所国際協力部の活動報告の様子（大阪会場）】



【第4部 パネルディスカッションの様子（東京会場）】